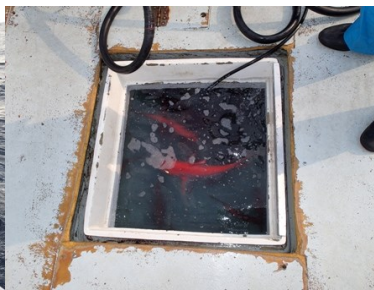




キンメダイの捕獲・飼育の試み

当場では2月から3月にかけて、伊豆漁協稲取支所の所属船「稲荷丸」の協力を得て、キンメダイを捕獲しました。今年度から始まるキンメダイの栽培漁業研究のために行ったもので、海から陸上水槽までの運搬方法、飼育方法を確認しました。船上では、釣り揚げたキン

メダイを素早く魚槽に入れ、入港後は特製のたも網を使ってトラックの活魚水槽へと移し、速やかに当场まで運搬し飼育水槽へ入れました。飼育では密度など飼育魚へのストレスを与えないことが非常に重要であることがわかりました。



←左：捕獲の様子
中：魚槽を泳ぐキンメダイ
右：飼育水槽内のキンメダイ

水産・海洋学講座で講演

3月6日に下田市民文化会館で下田市教育委員会が主催する水産・海洋学講座が開催され、当场職員が「変化する海～黒潮と沿岸水温～」というテーマで講演を行いました。衛星画像や観測事例をもとにダイナミックに変化する海の状況を説明しました。当日は下田市および賀茂郡在住の方30名が聴講し、今後の黒潮の変化などの多くの質問がありました。



テングサ漁場の雑藻刈り試験

伊豆半島は、全国的でも一、二を争うテングサの生産地として知られていますが、漁獲量の減少や高齢化の問題を抱えています。テングサ漁場は、まるで赤色の絨毯を敷き詰めたような景観ですが、各地先で他の海藻が優占する漁場の荒廃現象が見られています。そこで、荒廃した漁場を回復させる手法（雑藻刈り）を確立することを目的に、現在、潜水により調査を進めています。



テングサ漁場の景観→

【解説】テングサ漁場の雑藻刈り：テングサ漁場はそこでの採取が不十分だと、他の海藻（雑藻）が増え、テングサは減ってしまう。雑藻を除去すればテングサは増えるが、効率的にテングサを増やすための雑藻除去時期や方法が未確立となっている。

4月の予定 ・熱海地区でヒラメの中間育成が始まります。・今年の天草作柄を予測するための潜水調査を継続して行います。・伊豆漁協の浜プラン策定の検討会に参加します。

4月11日(土)に伊東魚市場にて『水産祭』が開催されます。

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜 251-1 電話 0558-22-0835
アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu